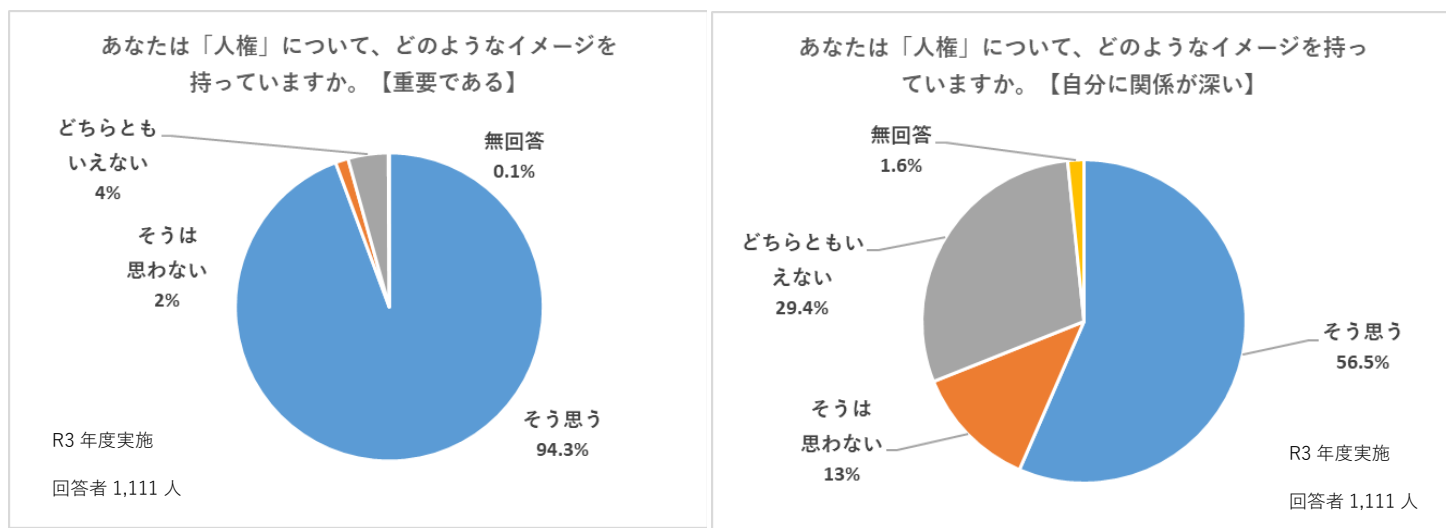


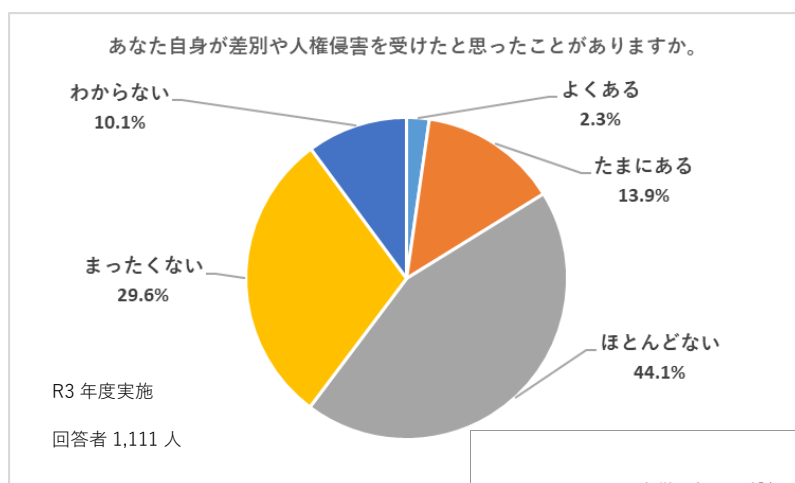
人権尊重のまちづくりに向けて—湯梨浜町人権意識調査から—

◇「人権」は私たちの身近なものです

人権について、9割超の人が「重要である」と回答しておられます。一方で、必ずしも「自分に関係が深い」とは感じていない人が4割程度おられることがわかりました。人権に関わる問題や課題は、私たちの日常生活の中にあるものです。それを他人事とせず、自分に関係があることとして自らが関わっていく意識を持つための取り組みが必要です。



◇身近な差別や人権侵害に気づく力を持ちましょう



差別や人権侵害を受けたことがあると思う人は全体の2割弱でした。職場や地域、学校でも起きているようです。自分はもちろんですが、身近な誰かが困っていることに気づいていくことが大切です。

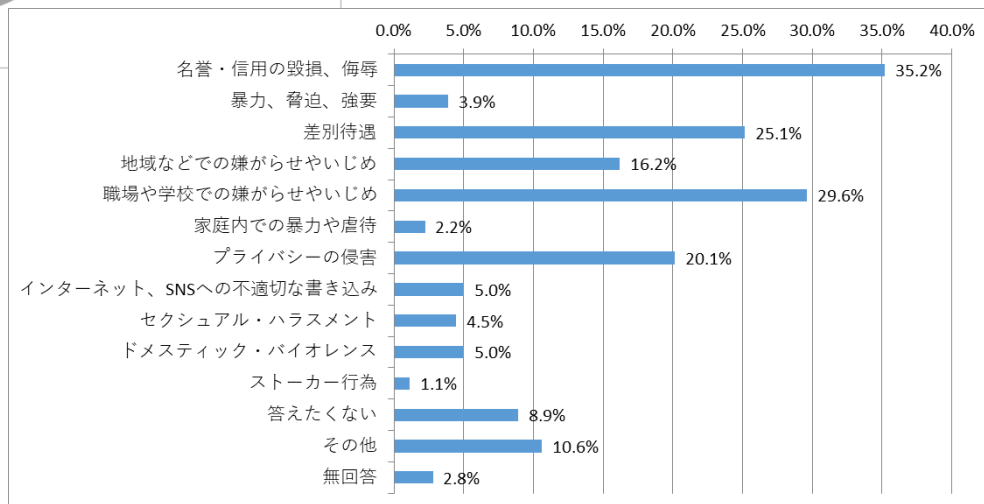
※セクシュアル・ハラスメント

・・・性的嫌がらせ

※ドメスティック・バイオレンス

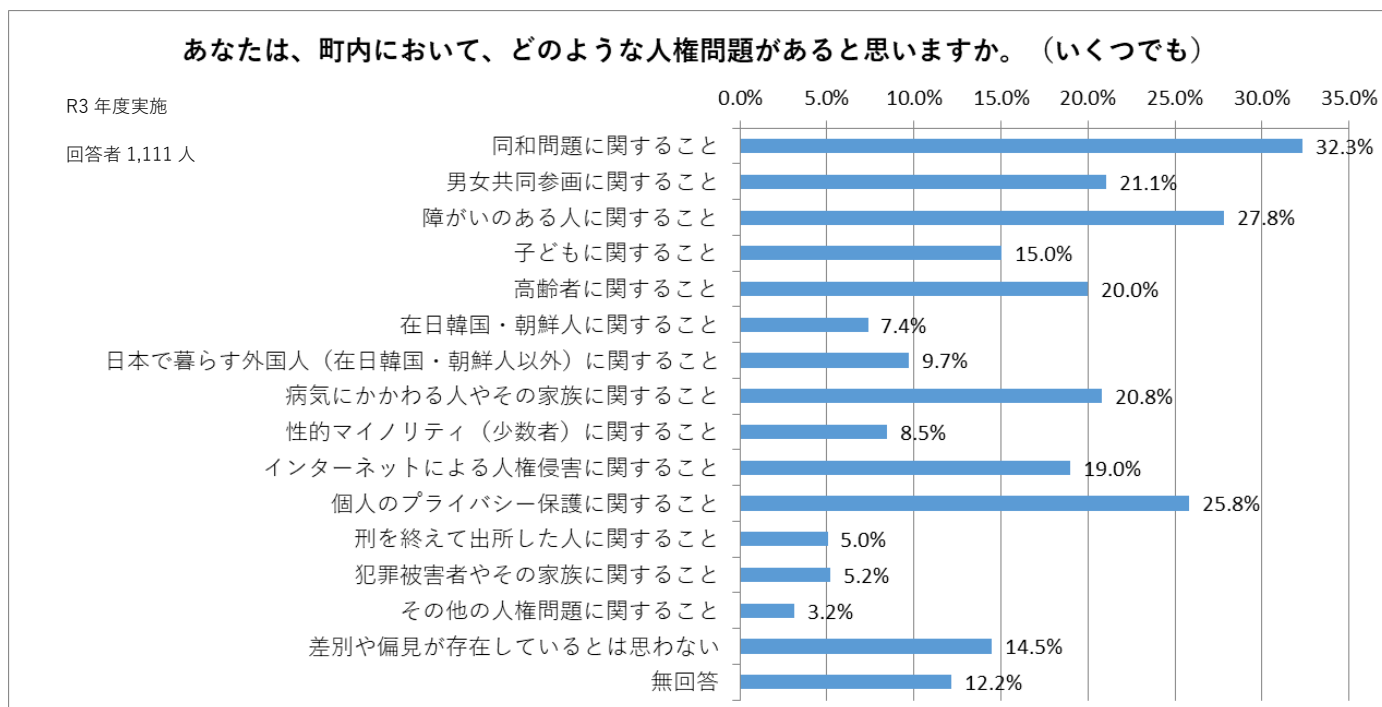
・・・配偶者や恋人などからの

身体的・精神的・性的な暴力



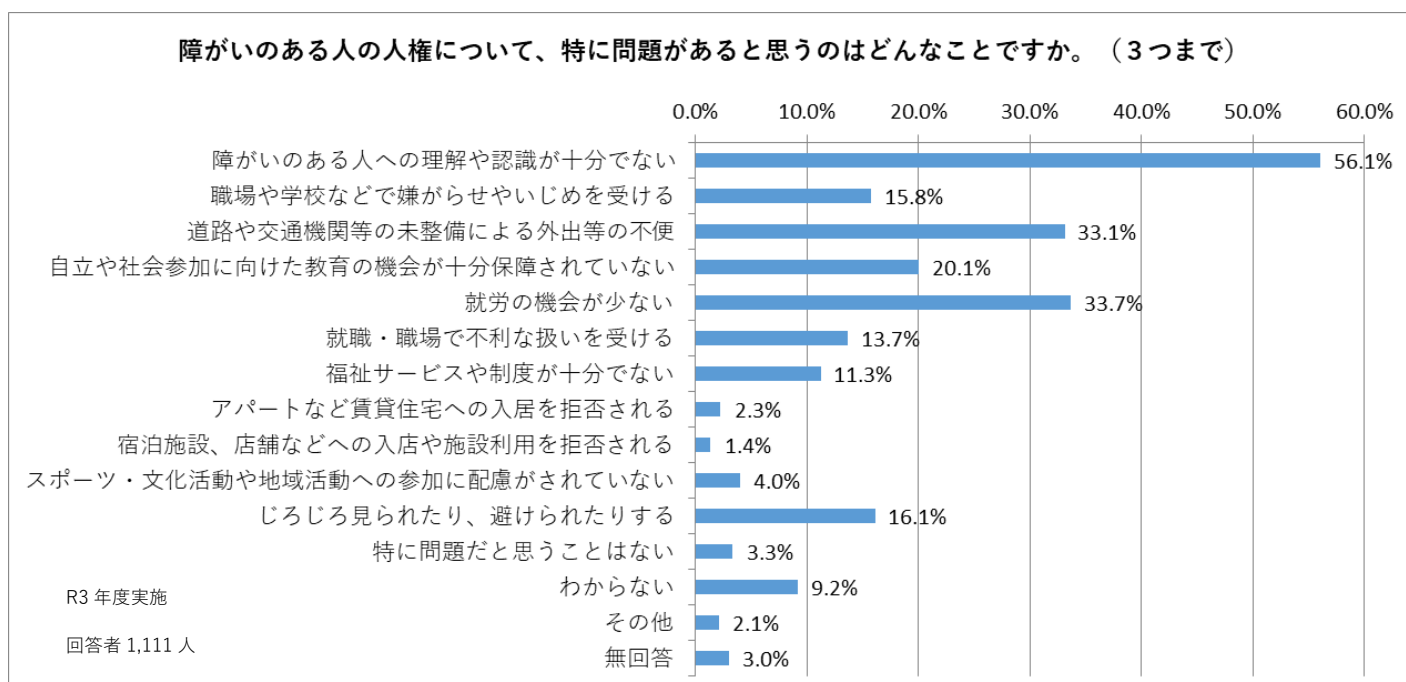
◇様々な人権問題があります

同和問題をはじめ、男女共同参画に関すること、障がいのある人に関すること、高齢者に関すること、病気にかかわる人やその家族に関すること、個人のプライバシーに関すること、インターネットによる人権侵害に関することなど、さまざまな人権問題に気づいている人がおられます。



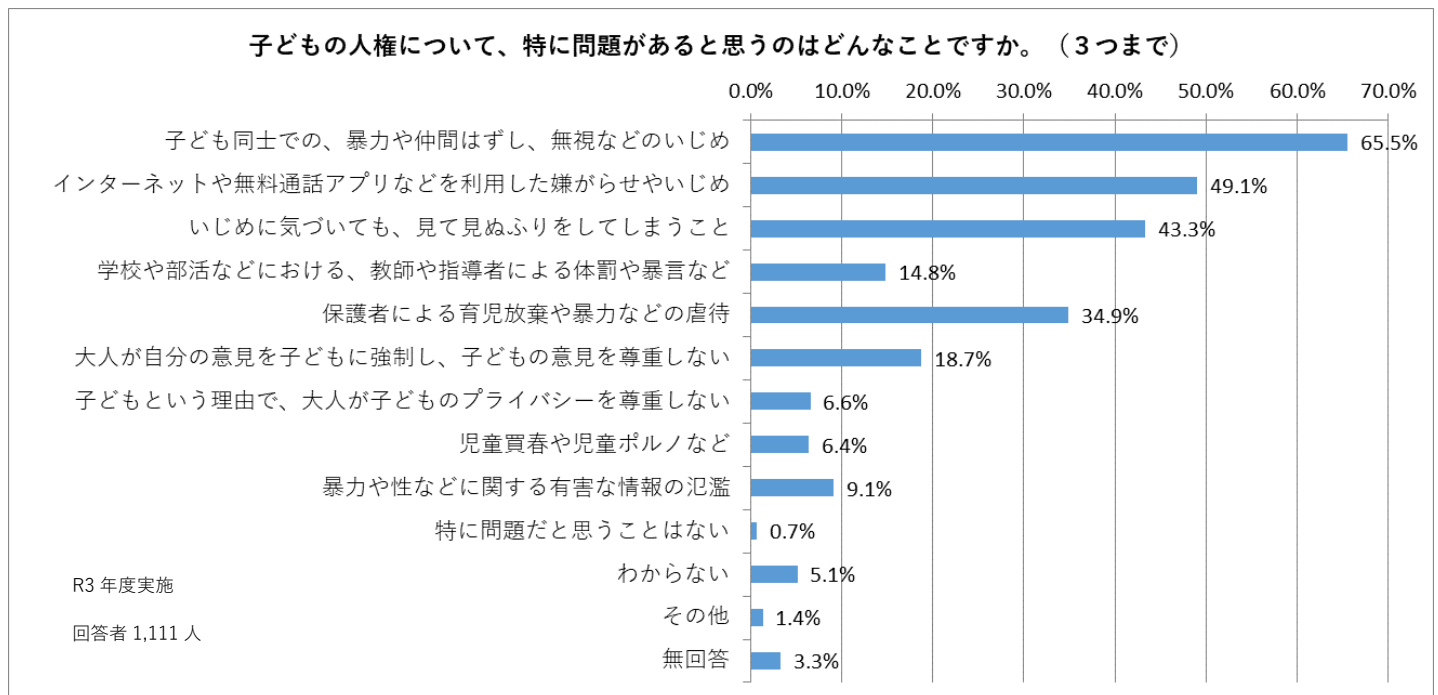
◇障がいのある人が安心・安全に暮らせるまちを築きましょう

障がいのある人の人権に関して、回答者の6割の人が障がいのある人への理解や認識が十分でないと感じられました。障がいの種別や程度により特徴や必要な配慮が異なることを理解し、誰もが自分の能力や個性を發揮し社会の担い手として暮らせるまちづくりを進めましょう。



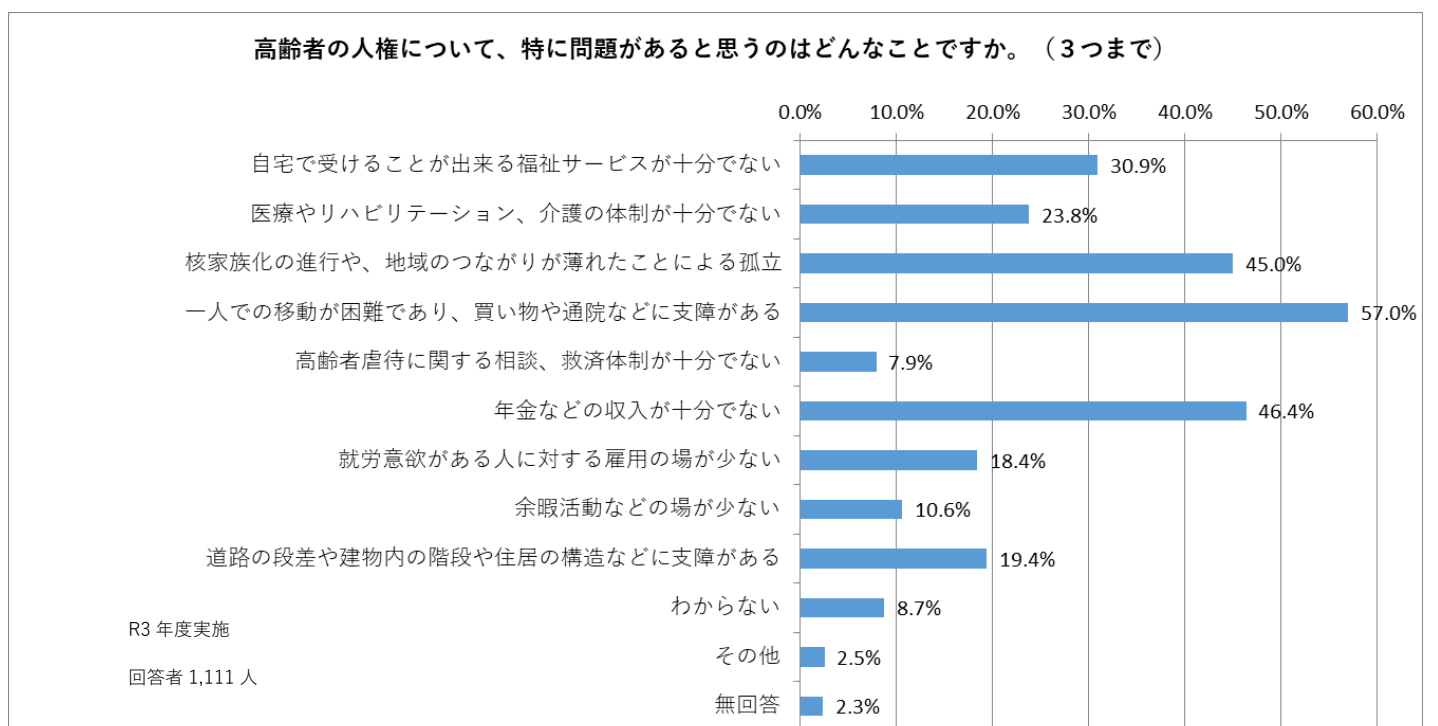
◇子どもたちに「仲間はずし」や「いじめ」のない社会をつくりましょう

子どもの人権に関して、6割以上が子ども同士の仲間はずしやいじめが問題であると回答されています。学校、地域、家庭が連携して子どもの健やかな育成に努めていく必要があります。また、大人自らが社会における良好な人間関係を築いていく実践をしていくことが大切です。



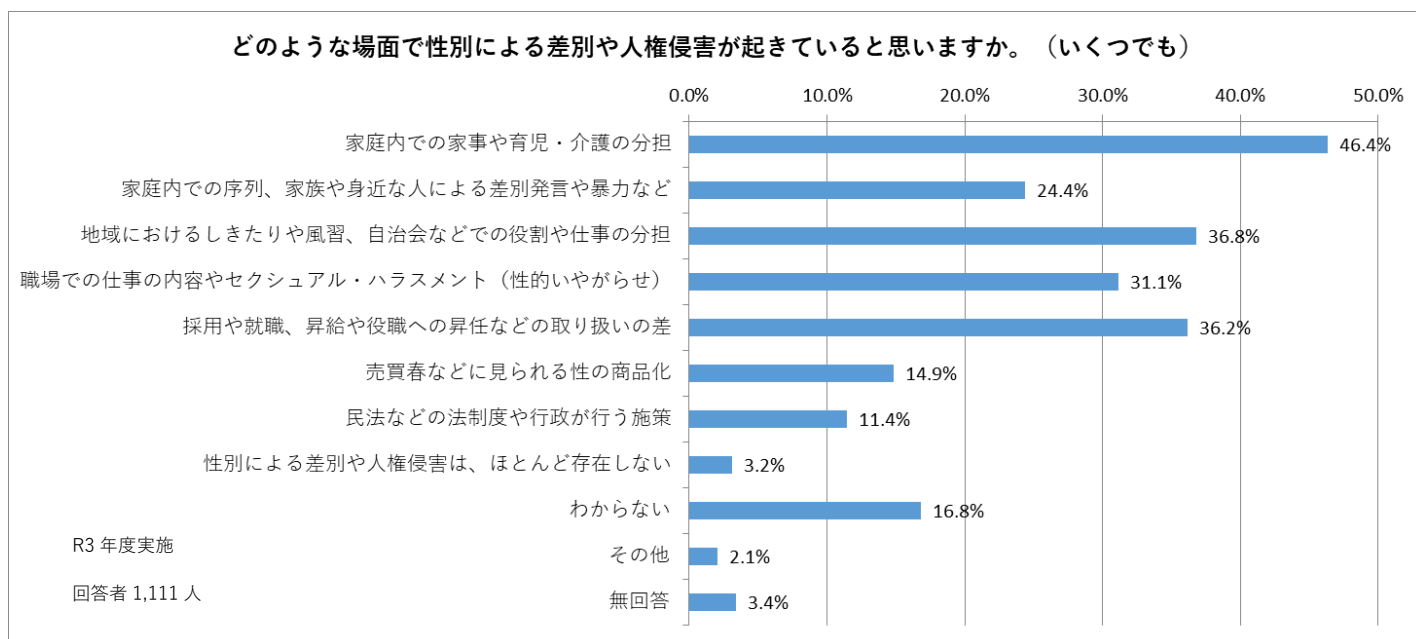
◇高齢者が安心して暮らすために、地域の連携を深めましょう

高齢者の人権に関して、6割近くの方が移動が困難で買い物や通院などに支障があることが問題であると回答されています。高齢者が住み慣れた地域の中で安心して生活できるよう、行政や自治会、地域住民、関係機関が連携して取り組んでいく必要があります。



◇性別にかかわらず誰もが個性や能力を発揮できる社会を実現しましょう

性別による差別や人権侵害について、4割超の人が家庭内の家事や育児・介護の分担が問題であると回答されています。男性・女性という性別を理由に役割を固定化するのではなく、性別にかかわらず、一人一人が個性や能力を発揮できる社会の実現に向けた取り組みを進めていく必要があります。



町では、今後の人権施策や全ての人が暮らしやすいまちづくりを推進する基礎資料として活用するため、人権意識調査を実施しました。調査にご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

この調査結果が地域や企業、学校などの学習に活用されることを期待しています。

調査の概要は次のとおりです。

- 実施主体：湯梨浜町、湯梨浜町教育委員会
- 調査時期：令和3年5月20日～6月10日
- 調査対象：16歳以上の町民2,000人
- 実施方法：無作為抽出した人へ郵便による送付、回収
- 回収率：55.6%

令和3年度人権意識調査の報告書全文は、湯梨浜町ホームページに掲載しています。

(<https://www.yurihamajp/soshiki/20/16682.html>)

